

## アナログ関連アクセサリーの試聴(11) —ターンテーブルシートの試聴(2)—

### 1. はじめに

前報(10)に置いて LINN LP12 のターンテーブルシートの試聴を行い、当面、自作アクションパッド製シートを使用していくこととしました。しかしながら、アクションパッドは粘着性があり、ベビーパウダーを塗ったりしてレコード面を直接置くことは望ましくない面もありますので、見直すこととしました。

また、同時に LP12 の針飛び対策について検討しました。

### 2. ターンテーブルシートの試聴方法

今回は、自作アクションパッド製シートの上に紙のシートを敷いてみることにしました。ヒントは TEAC 製の和紙のシート [TA-TS30UN](#) です。和紙を探しましたが、見つかりませんでしたので、奉書用の用紙を代用として選択しました。



LP12 の構造については、[LP-12 導入顛末記\(3\)](#)で述べていますが、スプリングでターンテーブルのベースを吊る構造になっています。同様にアームベースもスプリングで吊る構造になっています。

LP12 は、ハヤミのラックの上に載せていますが、移動のためのコマ付きのため、必ずしも床振動を遮断できるものではありません。ターンテーブルのベースとアームベースが別になっており、ともに別のスプリングで吊られたようになっていいますので、LP12 の周辺を歩いただけで針飛びが起こります。

このため、①LP12 の足にマグナライザーを敷く、②LINN ショップのアドバイスにより、LP12 と壁の間に突っ張りを入れるなどの対策を施しましたが、効果はありません。次にマグナライザーを外して、[サウンドマジックガラスボードの導入\(1\)](#)で報告しましたように防弾ガラスのボードを敷いて、かなり収まりましたが、それでも完全ではありません。そこで、多層のインシュレーターを自作しました。即ち、【foQ シート/アクションパッド/J1 プロジェクトインシュレーター/ハネナイト/foQ シート】のように弾

性や制振作用の多様な素材を重ね合わせたものです。



### 3. ターンテーブルシートの試聴結果

紙シートの有無で音が変わるかどうか確認しましたところ、紙シート有では、わずかに音が柔らかくなる傾向がありましたが、顕著な差はありません。

自作インシュレーターの追加により、針飛びは、ほぼ解消したと言っていいと思います。音質的には、わずかですが、音像がくっきりと立つようになったと感じられます。

### 4. まとめ

当面ターンテーブルシートはアクションパッドの上に紙シートを敷いて聴いていきます。自作インシュレーターもこのまま様子を見ていきます。

以上